とかち新聞
主筆 松山明
(発行所)北海道足寄郡足寄町　とかち新聞社　電話2551番
毎旬5の日発行　1部50円1ヵ月150円　1ヵ年前納1,500円

役場庁舎増築で論議

足寄町議会

新年度予算審議を主とした定例第一回の足寄町議会は十二日から会期の九日間どおりに二十日に閉会しました。

一般質問では各議員ともいつものように農業問題に重点をおいていましたが、それ以外の主な論議をひろってみました。

香川議員　西小学校の新築について町長の執行方針と教育委員会の考えにズレがある、いかに執行するか与論はまちまちである

岡教育長　技術的に経済的に専門的に計算中で近く示される、町長部局と同一である

小林町長　予定の新しい候補地を想定、通学路、安全の保障が問題点で技術的に検討している、期成会の協力を得て執行する、理解を得られると信ずる

香川議員　十二月から三カ月もあり、結論を急がねば来年建てられない、用地を取得して住民の反発があっては大変である

岡教育長　道路その他諸条件の整備は技術家の設計が必要で慎重を期している四月上旬に解決へ住民と話し合い理解を得ていきたい

下請からマージソ

久保田議員　町の建設工事は大きい二、三のものが七、八割の仕事をしている指名の場合、二年、三年の実績をみてランクづけすべきでないか、二、三の業者は国や道、営林署から仕事があるので町の工事は零細業者の下請けに出して、ある業者は四百五十万円近くのマージンをとっている、零細業者がやれるようにすればうるおう、町長はいまのとおりくり返すのか、変更する意志はないか

小林町長　請負業者の技術者、機械力、資金力など国、道と同様にランクをつけるが、下位のものも審査して何名か上げている、自ら施工しないで他にまわしているのを多少見うけられるので、建設業協会とも相談して配慮したい

スクールバス問題

鳴海議員　学校統合でスクールバスがふえるばかりでニッチもサッチもいかなくなる、全額国がもち運転手は道費とすべきでないか

岡教育長　そのとおりで年間一台百五十万円の支出にたいし交付税は百三十万円程度で、二十万円程度町費負担であり、交付税のなかで位置づけ頂くようお願いしている

鳴海議員　足寄高校の家政科を普通科にすべきではないか

前谷教育委員長代理　家政科より普通科は見方で、四十二年に四間口を一間口へらされるので、陸別と二町の通学区域なので家政科を設けた、どちらにしたらよいか判断は難しいが女子の間口が狭くなる、家政科をなくす決定的な理由はない、運動をおこすことを検討してみる必要がある

足寄駅広場の整備

湯浅議員　観光足寄の玄関口としてお粗末であり、カニ族が入りきれない、一部移築と執行方針にあるが広場は舗装すべきで、わきの丸運まで駐車場にし無料休憩所を設けるべきでないか、官舎は十分や十五分の通勤は結構というので全部除去できる、交渉の経過をききたい

小林町長　駅舎の改築はただちにとりかかれないが広場の舗装は考えている、国鉄と麻生氏契約の丸運は三月三十一日で期限が切れて撤去する、無料休憩所は官舎全部の移転を検討中でそのなかで考えたい、一等地なので代替地は相当の資金計画となるので慎重に対処したい

木材引取税の課税

阿部議員　木材引取税は本年、二千百万円の予定だが、課税方法はどうしているか

富田助役　森林組合による把握、所得税の資料、業者のきき込み、現地の情報などで、国有林は営林局との価格協定で課税している

阿部議員　条例があるのに協定は違反でないか、五千万円以上になる、本別営林署の芽登を加えれば一億円近くになる、営林局の標準価格は十三万円というがいまは七十万円で、問題は大手でほとんど納めていない、社有地を掌握していないのでないか、上利別だけでも一千万石ある

小林町長　ありがたい質問で感謝する、標準価格は町村会へ呼びかけ、大手業者の関係は公平を期するため検討したい

三町の消防体制を指摘

新年度の一般会計予算案審議のなかで、湯浅、神本の両議員は池北三町消防事務組合の在り方をとりあげ

一、せっかく広域消防の体制としながら消防団が入っていない

二、組合議会に消防団長が議員として加わっているのはおかしい

三、消防長が非常勤というのはいけない

などの点を指摘して早急に改善を求めました。

全道二十五組合のうち、こうした変則的な姿にあるのは十勝管内の五組合だけで、消防長が非常勤というのは全道でこの組合だけとなっています。

庁舎新築は十年後

すっかり狭くなった役場庁舎は、各室ともビッシリで書箱類は廊下にはみ出し二階の中会議室は建設課に小会議室は農業改良普及所に、議員控え室は商工観光課に占められ、空いているのは大会議室（議会）だけとなったものの選挙などの場合、臨時事務病に転用といった窮屈な現状から、雪印工場跡地での新築計画は十年前後の先へ延ばすことにして、現庁舎の裏に増築することを提案。

増築の一階には教育委員会、農業委員会、農政課、運転手詰所、当直室、文書室、物品庫、二階には建設課、観光課、厚生室、会議室、コーヒー室、技術室を配置することにし、現庁舎の三階はオール議会用として、傍聴席を拡大、議員控え室、委員会室を設けることにしています。

これにたいして鳴海議員から

一、新築を十年前後の先に予定しておいて四千万円も投じて増築すべきでなく、現状で辛抱すべきだ

二、庁舎新築と併せて建てる消防庁舎だけを先にするわけにいかない

三、町の公共建物は無計画で、西小の体育館はムダになろうとしており、足中の武道館は遠くて有効に使われていない、小手先でなくハッキリとした計画を樹てるべきだ

四、雪印から庁舎予定地を十年間もムダに遊ばせるのはなっとくできない

との反対意見にたいして小林町長は『二千万円以上の公共建築物についてなるべく早く構想を提出したい、消防庁舎の在り方、雪印跡地をどう活用するか検討する』との答弁があって予算案を賛成多数で議決しましたが、樹芸樹木園地事業費三百三十八万円については産業委員会に付託した条例案を可決するまで使用しないことを決議しました。

病院は明年改築へ

町立国保病院の本年の事業収益は二億三千五百五十万円見込んで、医師六名、看護婦二十六名、医療技術員七名、事務職員十四名、技能労務員十二名の陣容、一千百五十一万円の建設改良費で正面ロータリーの舗装、ボイラー更新、調理場改修、医療機械器具購入医師住宅暖房工事をおこないます。

一日平均の患者は入院が九十五名、外来が二百四十一名で、ベッド百十五のうち結核病棟が三十で、結核患者がへってベッドが余っているのに一般の入院患者はあふれている現状から、明年は結核院棟をとりこわして一般病室に改築することになりました。

国のうちそと

『農村に花嫁がこない、後継者がいない、乳牛がへってきた、馬令著収獲機を入れたのに反別がふえない、いったいどうするのだ』―これらはすべて町長の責任だといわんばかりの論議が町議会で常に活発に展開。

×

たしかに農業は町の基幹産業であって、町議会のたびに論議の焦点となるのは当然でしょうが、基幹産業であるとともにうまくなければやめていく自由企業でもあり、至れりつくせりとはいかないまでも町としてはこれまでも補助政策の筆頭は農業部門だった筈ですがそれにもかかわらず貿易自由化の荒波を迎えて農業の危機は一層深刻なものに。

×

農業はもっとも割りの合わない産業ですが、農業に意欲をもつ農民にたいして国は計画的な保護政策をとり軍備よりも食糧を大切にしなければならないのに、自民党政府はその逆をいって農業よりも四次防を優先―アメリカのいいなりに農産物の自由化を促進―その自民党を農民がもっとも支持しているのでは、自らが自分の首をしめているわけ。

×

自由経済を原則とする自民党政府に自由化阻止を要求すること自体が無理で、政治の流れを変えようとする農民の自覚が先決問題。

農民が自分の首をしめては

家具と建材
信用は最大のサービス
技術と納期を誇る！
家具　建具　製造販売
住宅内装に新建材を！
佐藤家具建材店
足寄駅前　電話二二二一番

不動産についての御相談は
調査　売買　あつせん　管理　分譲
代行　登記　損害保険　代理まで
同和、興和火災保険代理店
北海道免許十26
足寄不動産事務所
足寄町本通り三丁目　T二三四五

観光と保養の
芽登温泉
足寄町芽登　T八五五

大自然のなかの人工美
―いで湯のふるさと―

(に)自動車
霊きゅう車　葬儀仏具一式　花輪　生花
新津はなや
足寄町西三区　T二六二六

カメラ　八ミリ　写真材料
上野カメラ堂
上野復興
足寄駅通り　T二五一二

1部屋1台時代の新しい電話
ホームテレホンRonRon（ロンロン）

音もスタイルも家庭向き
1台で4台まで使える
新しい電話！

◎呼出しは軽快なチャイム　ロンロンお部屋まで明るくなるソフトな音。音量調節も自由。
◎1本で4台まで使えます　台所、居間、書斎、こども部屋などお好きな部屋に1台ずつ。
◎切替えはカンタン　他の部屋に電話をまわすときはボタンをポン！呼びに行く必要はなし。
◎お部屋どうしの連絡も自由　「お早よう」「まだお勉強？」内線呼出しボタンでどうぞ
◎家中を一度に呼べます　家族全員には一斉呼出しボタンで。ミニスピーカーが働きます。
◎各電話のプライバシーも完全　よそのお話しは割込みスイッチで他の部屋に聞かれず

◎料金
◆一セット（電話機三台）
債券八万円　工事費八千円
使用料（月額二、〇〇〇円）
◆電話機四台の場合
債券一〇万円　工事費一万円
使用料（月額二、四五〇円）

お問い合せは　足寄電報電話局（電話2000番）へどうぞ